

フォレストニュース

植林が地球を救う

平成29年(2017)10月10日

No. 118

発行 高津啓洋

パラグアイ・イタ市で植樹会

名古屋市、中津川市と植樹会

9月9日(土)名古屋市市民の森づくり植樹バスツアーに地球の緑を守る会名古屋支部が支部会員の家族で参加しました。

ひのきの里(岐阜県中津川市)福崎の森に到着し、名古屋市副市長、中津川市長らの挨拶で始まりました。

午前中に笹藪を鎌を使って、みんなで刈り取りました。いトン汁と漬物をいただき、森林



2017.09.09



2017.09.09

そして、昼食にホウバ寿司と暖かいお湯の中で森林浴と談笑のひと時を持ち、美味しくいただきました。

午後から、くすのきをはじめいろいろな種類の1000本の植樹をみんな植えることができました。その後、近くの温泉にも立ち寄り心身ともにリフレッシュの時を持ちました。(山本記)



9月17日160名の青年が参加、9月21日70名の参加で植樹活動をしました。

参加団体は、イタ市市役所、ホアンオレアリ高校、サンカルロス大学、サンセバスチャン大学、救おう会、イタ市です。



イタ市市長、イタ市議会議員、市環境局長、市総務局長、麻薬予防指導員その他農業技師です。7月に続き17日に400本、21日に140本の植樹活動をしました。

今後を入れて、今年の植樹は、合計で1200本を植樹計画。苗木は、地球の緑を守る会から提供されます。

[お知らせ] 11月4日環境問題と植樹活動の1日セミナーを予定しています。参加希望者を募っています。

